

令和2年度  
佐渡市教育委員会

# 佐渡学センタ一年報

第 1 2 号

## 佐渡学センタ一年報

この年報の著作権は佐渡市教育委員会に帰属します。ただし、画像などは、所有者や執筆者に著作権があるものが含まれています。著作権法上の「私的利用」や「引用」の範囲を超えて使用する場合には、佐渡学センターまでお問い合わせください。ただし、掲載資料の使用に際して発生した障害には、佐渡市教育委員会は一切の責任を負いません。

## 刊行にあたって

佐渡学センター長 濱崎 賢一

令和2年度は、令和元年度末からの新型コロナウイルスの影響が長引く中、文化や博物館の価値が改めて問われることとなった年度であったと感じており、平成30年度の文化財保護法の改正から令和2年度の文化観光推進法の制定など、新たな文化の考え方や、博物館の価値を認識する年となりました。

昨年度好評であった「佐渡民謡の祝祭」や益田孝翁顕彰事業「佐渡鈍翁茶会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく中止となりました。

博物館・資料館においても、新型コロナウイルスの影響から、入館者数が令和元年度と比較すると、-42%減となってしまいました。

その中でも、佐渡博物館初のイベントとして「さどはくまつり」や、佐渡で活動している現代作家の作品を展示する「佐渡工芸展」を開催し、「さどはく無料入館Wiーク」とした取り組みを行ったことにより、8日間で1,785人の来館者がありました。

特別展として「佐渡ゆかりの書」を2回に分けて開催し、第1回では「佐渡にゆかりの書—江戸・明治・昭和—」、第2回として「学び舎に遺る佐渡の書—島内小・中・高校の宝—」を開催し、新潟大学教育学部岡村教授や山本修巳先生をお招きし、ギャラリートークなどの解説会など、江戸時代から今日まで伝わってきた「書」のもう表現の豊かさや、日常の生活の中にある「書」を身近に楽しんでいただきました。

企画展では、「本間嘉晴・フヂエ遺作展」収蔵品展「佐渡に遺る花鳥図作品展」など、佐渡の魅力を発信いたしました。

また、コロナ渦での取り組みとして、市内小学校の要望に沿い、職員が博物館資料を学校に持参して授業を行う「出前事業」を開催し、子どもたちが触れて、楽しみながら郷土を学ぶ機会の提供を行いました。

コロナ渦であっても「博物館と学校」、「博物館と来館者」が、つながりがもてる事業展開を行い、皆に親しまれ活用されていくことが大切であると感じました。

今後の博物館運営においても、引き続き徹底した「新型コロナウイルス感染防止」の取り組み強化と合わせ、市民が博物館に足を運んでいただける取り組みを進めて参ります。

令和2年度の年報を発刊するにあたり、佐渡市内の博物館関係施設の運営及び管理などにご尽力いただきました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、今後ともなお一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

# 目 次

## 刊行にあたって

I.	佐渡学センター設置からこれまでの経緯	1
II.	管理運営の状況	5
III.	佐渡学センター事業報告	
1.	展示事業	2 1
2.	収集保管事業	2 5
3.	調査研究事業	2 6
4.	普及・教育・学習支援事業	2 6
5.	支援・助成事業	2 8
6.	レファレンス・資料貸出等事業	2 7
7.	連携事業	2 8
8.	イベント	2 9
9.	刊行物	2 9
IV.	関係団体	3 0

# I. 佐渡学センター設置からこれまでの経緯

## 沿革

### 【平成 16 年度】

佐渡伝統文化研究所を設置することを佐渡市長が表明する。

### 【平成 17 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会生涯学習課内に設置した。

佐渡市長の平成 17 年度『施政方針』で、「研究所の基本理念」として、「佐渡の歴史と文化を再認識し、有形無形の歴史・文化資産を保護継承し、子々孫々まで残していくことは現代に生きる私たちの責務であると考えます。そのため、島内の研究者や伝統技術・技能の伝承者を集め、貴重な資料の散逸を防ぎ、専門の研究機関を設置することで、各地に残る貴重な資産・資料把握、保存整理研究が行える『佐渡伝統文化研究所』(仮称)の設立を行い伝統文化の継承に努めます。」と表明する。

### 【平成 18 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会文化振興課内に設置した。

### 【平成 19 年度】

佐渡伝統文化研究所を佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課内に設置した。設置場所は、梅津の佐渡市中央公民館から両津湊の佐渡市役所両津支所 3 階に移動する。

設立趣旨を、「佐渡は、古くから島外の文

化を受け入れながら島独自の文化を形成し、貴重な民俗芸能や伝統的な行事なども継承されている。また、

多様な地形や植生・地質など、自然環境にも恵まれている。このような文化遺産や自然環境は島内外の人々にとって大きな魅力となっているが、十分な調査や保存が行われているとは言えない状況にあった。

このような貴重な文化遺産の価値を島民に十分理解してもらい、その調査と保存・活用を図るべく、佐渡伝統文化研究所準備室を設置してその任に当たって来た。本年度から本格的に活動を目指して正式な『佐渡伝統文化研究所』を設立した。今後は、貴重な資料の散逸を防ぎ、データを集積して広く情報を発信しながら島民の皆さんは勿論、佐渡を訪れる多くの方々に利用して頂けるように努めたいと考えている。」として掲げ、活動を開始した。

### 【平成 20 年度】

重点施策として、「佐渡伝統文化研究所の体制づくりの推進及び佐渡の歴史・文化・自然に関する調査・研究とデータベース化、デジタルアーカイブ化の構築」とした。

### 【平成 21 年度】

研究所の機能を拡充強化することによって、地域学の拠点化を図るために、本年度から「佐渡伝統文化研究所」の名称を「佐渡学センター」に改称し、組織体制として新たに文化・学芸係を置き、佐渡島内の博物館・資

料館管理運営及び学芸業務も統合した。また事務所も両津郷土博物館内に設置した。

#### ＜重点施策＞

- 伝統芸能を始め、歴史・文化遺産の保存・継承、活用は、重要な課題であり、平成21年度は市民と協力して、基本方針となる文化振興ビジョン策定に取り組む。
- 伝統と魅力ある地域文化の保存・継承を目的として、佐渡の歴史・文化・自然等に関する研究や情報発信、資料のデータベース化を行う。
- 地形や地質など自然遺産が豊富な島である「佐渡」を、国内はもとより広く世界に紹介できるよう、大学等の関係機関との連携を図りながら、ジオパークとして世界認定を受けるための準備を進める。

### 【平成22年度】

#### ＜重点施策＞

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- ジオパーク認定を目指した取り組みを進める。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

### 【平成23年度】

#### ＜重点施策＞

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・

研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

### 【平成24年度】

#### ＜重点施策＞

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

### 【平成25年度】

#### ＜重点施策＞

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- 行政改革における施設の統廃合が急務であり、博物館・資料館の管理体制の見直しを図る。

○伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○新潟大学人文学部との協働事業を推進する。

### 【平成 26 年度】

#### ＜重点施策＞

○施設（博物館・資料館）における収蔵品の保存・活用や指定文化財等の保管管理の徹底と収蔵資料のデータベース化を推進する。

○行政改革における施設の統廃合を推し進め、博物館・資料館の今後の管理体制の見直し、効率的に運営を図る。

○佐渡博物館を佐渡市の総合的な博物館と位置づけ、三資産の普及啓発活動と連携しながら、学校教育での活用、市民にとって親しみやすい博物館づくりに努める。

### 【平成 27 年度】

#### ＜重点施策＞

○各施設（博物館・資料館）における資料の受入れ及び保存管理を適切に行うとともに、資料の統一台帳のデータベース化を推進する。

○佐渡博物館を中心としたそれぞれの博物館・資料館の今後のあり方と資料の活用方法について再検討する。

○佐渡博物館を佐渡市の総合的な博物館と位置づけ、三資産の普及啓発活動と連携しながら、学校教育での活用と市民にとって親しみやすい博物館づくりを目指した佐渡博物館活用計画を策定する。

### 【平成 28 年度】

#### ＜重点施策＞

○佐渡博物館を中心としたそれぞれの博物館・資料館の今後のあり方と資料の活用方法について再検討する。

○各施設の資料の受入れ及び保存管理を適切に行うとともに、資料の統一台帳のデータベース化を推進する。

○佐渡の歴史文化資源の保存の観点から、伝統芸能の活性化につながる事業を実施し、その魅力の再発見と団体間の連携につなげる。

○佐渡博物館中庭に移築された旧浅島家の修繕工事を実施するとともに、改修後の活用方法を佐渡市博物館協議会の部会の中で検討し、郷土愛の醸成につなげる。

### 【平成 29 年度】

#### ＜重点施策＞

○佐渡博物館中庭に移築された旧浅島家の修繕工事を実施するとともに、改修後の活用方法を佐渡市博物館協議会の部会の中で検討し、郷土愛の醸成につなげる。

○佐渡ゆかりの人間国宝四人展を開催し、卓越した工芸技術と優れた作品を多くの来館者に鑑賞してもらい、地元の偉人教育へつなげる。

### 【平成 30 年度】

#### ＜重点施策＞

○市の文化施設を活用し、佐渡の貴重な文化を島内外の人々に広く発信するとともに、文化の保存・活用事業をとおして文化財の価値を理解し郷土愛の醸成につなげるため、佐渡奉行所で「佐渡民謡の祝祭」と「佐渡鈍翁茶会」を開催し、新穂歴史民

俗資料館では「のろま人形上演会」開催の支援を行う。

○「佐渡文化財団」を設立し、佐渡の多様な伝統文化の保存・継承・活用を推進するとともに、芸術・文化の高揚を図り市民生活の向上と文化の発展に寄与することで、文化振興による観光振興、地域振興、交流人口の増加を図る。

### 【令和元年度】

#### ＜重点施策＞

○既存の博物館機能の役割を明確化し、佐渡の歴史歴史、民俗、芸術等がよりわかりやすく発信できる佐渡博物館基本方針を策定する。

また、旧後山小学校体育館を展示ができる収蔵施設として整備を進める。

## II. 管理運営の状況

### 【令和2年度 佐渡学センター運営方針】

- 佐渡の伝統文化等の振興を目的に設立した佐渡文化財団の運営を支援する。
- 各施設の資料の受入れ及び保存管理を適切に行うとともに、資料の統一台帳のデータベース化を推進する。
- 佐渡の歴史文化資源の保存の観点から、伝統芸能の活性化につながる事業を実施し、その魅力の再発見と団体間の連携につなげる。

### 【博物館・資料館運営方針】

#### ＜重点施策＞

- 

#### ＜運営方針＞

- 伝統文化等保存支援事業（補助事業）佐渡島内に伝承されている伝統芸能等の後継者・保持団体の活動に対し補助事業を実施、伝統文化の保存・伝承・活用を図る。
- 佐渡の歴史・文化・自然等に関するレファレンス業務の推進を図る。
- 博物館・資料館管理の徹底を図る。
- 博物館の企画展示の計画的な開催を目指す。
  
- 博物館への多様なニーズに対応し、学校教育や大学・世界遺産・ジオパーク・GIAHSの政策と連携を図りながら資料展示の充実を図る。

### 【組織】

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| センター長・館長 | 濱崎 賢一               |
| 係長       | 中田 雄一郎              |
| 主任       | 安田 寿彦               |
| 主任       | 石渕 裕作               |
| 主事       | 五十嵐 麻湖 (学芸員)        |
| 主事       | 平野 黎 (学芸員)          |
| 雇員       | 高藤 一郎平 (指導員)        |
| 雇員       | 本間 裕徳 (佐渡博物館)       |
| 雇員       | 相羽 理恵 (佐渡博物館)       |
| 雇員       | 中原 岳史 (佐渡博物館)       |
| 雇員       | 宇田 美智子 (相川郷土博物館)    |
| 雇員       | 小林 尚子 (相川郷土博物館)     |
| 雇員       | 岩崎 直樹 (相川郷土博物館)     |
| 雇員       | 和泉 めぐみ (佐渡国小木民俗博物館) |
| 雇員       | 絞張 洋子 (佐渡国小木民俗博物館)  |
| 雇員       | 山本 仁美 (史跡佐渡奉行所跡)    |
| 雇員       | 谷口 幹雄 (史跡佐渡奉行所跡)    |
| 雇員       | 岩崎 千代美 (史跡佐渡奉行所跡)   |
| 雇員       | 清水 芳春 (史跡佐渡奉行所跡)    |
| 雇員       | 浅井 真由美 (史跡佐渡奉行所跡)   |
| 雇員       | 岩見 絵美 (史跡佐渡奉行所跡)    |
| 雇員       | 山本 加奈子 (相川技能伝承展示館)  |
| 雇員       | 佐々木 さゆり (相川技能伝承展示館) |
| 雇員       | 山本 悅子 (相川技能伝承展示館)   |
| 雇員       | 小杉 栄枝 (相川技能伝承展示館)   |
| 雇員       | 寺尾 フジ子 (相川技能伝承展示館)  |
| 雇員       | 金子 弘子 (佐渡植物園)       |
| 雇員       | 渡邊 ミユリ (佐渡植物園)      |
| 雇員       | 森 綾 (佐渡植物園)         |

## 施設の状況等

### 【佐渡博物館】

開館年度 昭和 32 年度



#### <施設概要>

所在地 佐渡市八幡 2041 番地

電 話 52-2447(FAX 兼用)

敷地面積 6,647.9 m<sup>2</sup>

建築総面積 1,632.05 m<sup>2</sup>

構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建

展示室 856.16 m<sup>2</sup>

収蔵庫 107.79 m<sup>2</sup>

図書室 25.69 m<sup>2</sup>

会議室 33.77 m<sup>2</sup>

事務室 67.96 m<sup>2</sup>

その他 540.68 m<sup>2</sup>

駐車場 大型バス 3 台・普通車 20 台

#### <総事業費>不明

入館料 大人 500 円／子ども 200 円

休館日 12/29～1/3

備 考 昭和 32 年 9 月 1 日、佐渡の郷土資料を収蔵・展示する総合博物館として財団法人が開館。島内の学術団体、研究者の協力・支援のもと、調査研究・収集保管・展示公開等の事業を展開してきた。

平成 5 年に増改築を行い、2 階土田麦僕素描展示室と 1 階企画展示室を新設した。

平成 25 年 11 月 30 日、運営主体の財団法人が解散し、一時休館した。

平成 26 年 4 月 1 日、佐渡市立佐渡博物館として、「世界農業遺産 (GIAHS)」・世界遺産暫定リストに登録された「佐渡金銀山」・日本ジオパークに認定された「佐渡ジオパーク」の三つの遺産を発信すると共に、佐渡の自然・歴史・文化の調査研究・公開・発信を進め、佐渡学を学べる総合博物館として、再出発した。(土地は八幡館、建物は新潟交通株式会社の所有。財団法人が所有していた資料は佐渡市の所有となった。)

所蔵資料は約 7,000 件で、そのうち土田麦僕素描等資料は約 500 点。

### 【両津郷土博物館】

事業名 社会教育施設等整備費補助金

建設年度 昭和 56 年度



#### <施設概要>

所在地 佐渡市秋津 1596 番地

電 話 52-2447(佐渡博物館)

敷地面積 49,590 m<sup>2</sup>

建築面積 1,373.59 m<sup>2</sup>

構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建  
地下 1 階

駐車場 約 50 台

<総事業費>515,912 千円

入館料 大人 300 円／子ども 100 円

休館日 12/29～1/3

(通常は事前申込により開館)

備 考 昭和 53 年、「加茂湖総合開発計画」の制定により、湖に半島となって突き出た樹崎一帯が「レクリエーション保存地区」として位置づけられた。その中で、市民の憩いの場、また生涯学習の一拠点として、昭和 57 年に開館した博物館。

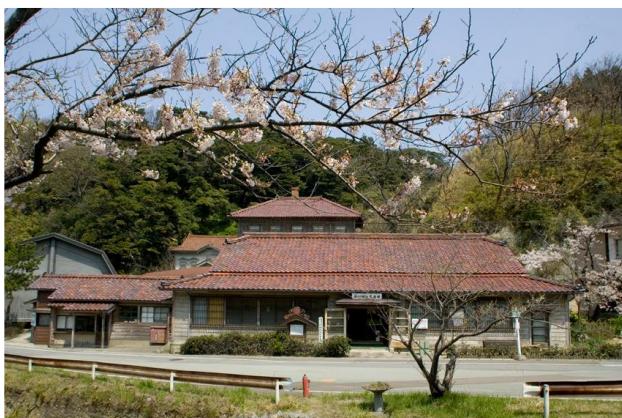
メインテーマは「島のくらしと文化」。平成 26 年 4 月 1 日より休館しており、事前申込みにより開館している。

収蔵資料は、漁撈用具などの民俗資料を中心に 30,000 点以上。そのうち、国指定重要有形民俗文化財「北佐渡（海府・両津湾・加茂湖）の漁撈用具」を有する。

### 【相川郷土博物館】

事業名 相川小学校 80 周年記念事業

開館年度 昭和 31 年度



#### <施設概要>

所在地 佐渡市相川坂下町 20 番地

電 話 74-4312

敷地面積 (総面積) 3,150 m<sup>2</sup>

建築面積 (総面積) 1,055.16 m<sup>2</sup>

構造・階数 木造平屋建（一部 2 階建）

御料局佐渡支庁跡 172.24 m<sup>2</sup>

展示室（1 階） 244.89 m<sup>2</sup>

特別展示室・準備室 84.60 m<sup>2</sup>

事務室・その他 117.19 m<sup>2</sup>

有田八郎記念館 116.76 m<sup>2</sup>

収蔵庫 198.00 m<sup>2</sup>

名譽町民資料館 55.48 m<sup>2</sup>

駐車場 相川技能伝承展示館と共に用  
約 20 台

#### <総事業費>不明

入館料 大人 300 円／子供 100 円

休館日 12 月から 2 月までの土日祝日  
12/29～1/3

備 考 明治 22 年建築。御料局佐渡支庁跡に三菱佐渡鉱山の所長室及び本部事務室として建築され、鉱山の大幅縮小に伴い、鉱山資料と共に三菱より相川町へ譲渡され、昭和 31 年 7 月に開館した博物館。主に鉱山資料を中心に約 800 点を展示。

収蔵資料は、鉱山以外の資料として、「佐渡海府の紡織用具と製品」（国指定重要有形民俗文化財）等、約 37,000 点。

### 【相川文書館】

建設年度 昭和 51 年度（移築）



#### <施設概要>

所在地 佐渡市相川坂下町 20 番地

（相川郷土博物館敷地内）

電 話 74-4312（相川郷土博物館）

建築面積 66 m<sup>2</sup>

構造・階数 木造平屋建

<総事業費>移築費 4,000 千円

備 考 昭和 45 年から始まった町史編纂事業は、博物館では非常に手狭なため、昭和 48 年に旧第四銀行相川支店（大正 2 年建築）を改築する際に旧相川町へ建物を譲渡してもらい、昭和 50 年に完全移築し、町史編纂の作業とその資料の公開を目的として開館。平成 23 年 3 月、条例廃止と同時に機関を廃止。

事務室・その他 109.86 m<sup>2</sup>

駐車場 相川郷土博物館と共に約 20 台

<総事業費>81,532 千円

入館料 無料

体験料 陶芸 1,720 円／裂織り 1,800 円

休館日 12/1～2/29

備 考 昭和 61 年に開館。陶芸実習と裂織り実習を行える体験施設として、修学旅行の体験学習の受入れを行っている。陶芸は相川無明異焼協同組合に委託し、裂織り実習は裂織り講座の卒業生を臨時雇用としている。

### 【相川技能伝承展示館】

事業名 地域バイタリティ育成事業全体

計画

建設年度 昭和 60～61 年度



#### <施設概要>

所在地 佐渡市相川北沢町 2 番地

電 話 74-4313

敷地面積 2,271 m<sup>2</sup>

建築面積 712.17 m<sup>2</sup>

構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建  
(一部 2 階建)

陶芸実習室 109.31 m<sup>2</sup>

裂織実習室 93.57 m<sup>2</sup>

資料展示室 109.31 m<sup>2</sup>

窯小屋・登り窯 49.68 m<sup>2</sup>

工房 102.69 m<sup>2</sup>

ホール 137.75 m<sup>2</sup>

### 【史跡佐渡奉行所跡】

事業名 佐渡金山遺跡佐渡奉行所保存整備事業

建設年度 平成 7～18 年度



#### <施設概要>

所在地 佐渡市相川広間町 1 番地 1

電 話 74-2201

敷地面積 18,542 m<sup>2</sup>

建築面積 1,541.6 m<sup>2</sup>

構造・階数 木造平屋建

御物見 34.7 m<sup>2</sup>

御役所 990.0 m<sup>2</sup>

御門番所 32.0 m<sup>2</sup>

御普請方役所 140.4 m<sup>2</sup>

勝場 344.5 m<sup>2</sup>

駐車場 大型バス 3 台、普通車 約 20 台  
<総事業費>2,387,984 千円

入館料 大人 500 円／子ども 200 円

休館日 12/29～1/3

備 考 平成 6 年に佐渡金山遺跡（佐渡奉行所跡）が国の史跡として指定されたことを受け、平成 13 年に「御役所」建物を江戸期の技術で復元公開し、平成 16 年には金銀山のガイダンス施設となる「勝場（せりば）」の公開を開始。

平成 28 年度には、史跡佐渡金銀山遺跡佐渡奉行所跡整備基本計画書を策定し、経年劣化箇所の補修と今後の活用の方向性を計画した。

### 【佐渡国小木民俗博物館（本館）】

開館年度 昭和 47 年度



#### <施設概要>

所在地 佐渡市宿根木 270 番地 2

電 話 86-2604

敷地面積（総面積）11,192 m<sup>2</sup>

（本 館）9,868.96 m<sup>2</sup>

延床面積 2,930 m<sup>2</sup>

構造・階数 木造平屋建

駐車場 10 台

<総事業費>190 千円（当時）

入館料 大人 500 円／子ども 200 円

（新館・千石船資料館と合同）

休館日 12 月から 2 月までの毎週月曜日

備 考 大正 10 年に建てられた旧宿根木

小学校の木造校舎をそのまま利用して、昭和 47 年 6 月に開館した博物館。館内には主に民俗資料を展示。

収蔵資料は、約 30,000 点で、そのうち「南佐渡の漁撈用具 1,293 点」「船大工道具 1,034 点」は国の重要有形民俗文化財に指定されている。

### 【佐渡国小木民俗博物館（新館）】

事業名 農村地域農業構造改善事業  
(自然活用型)

建設年度 昭和 56～59 年度



#### <施設概要>

所在地 佐渡市宿根木 270 番地 2

電 話 86-2604

建築面積 627.52 m<sup>2</sup>

構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建

駐車場 旧館と共に 10 台

<総事業費>87,194 千円

備 考 昭和 59 年 8 月に開館。農・漁業道具、小木半島地形模型、集落模型、海底地形模型、魚類も系統を展示している。

### 【千石船展示館】

事業名 山村振興等農林漁業特別対策  
事業

建設年度 平成 8～9 年度



#### ＜施設概要＞

所在地 佐渡市宿根木 270 番地 2

電 話 86-2604

建築面積 695.52 m<sup>2</sup>

構造・階数 木造平屋建

＜総事業費＞135,366 千円

備考 安政 5 年 (1858) に宿根木で建造された「幸栄丸」を当時の板図 (設計図) をもとに、実物大で復元した「白山丸」が展示されている。

建築面積 303.65 m<sup>2</sup>

延床面積 206 m<sup>2</sup>

構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建

駐車場 10 台

＜総事業費＞52,000 千円

入館料 無料

休館日 毎週月曜日、12/1～2/29

備 考 江戸時代から明治時代にかけて、佐渡の経済発展を支えた海上交通は、北海道や西日本への遠隔地の往来のほか、佐渡の各地の港から対岸の越後へも往来を繰り返していた。かつての小木港の歴史を偲ぶとともに、小木一寺泊の人や物の交流の足跡をたどるため、小木一寺泊間を結んだ佐渡海峡最後の木造和船である「幸丸」を保存・展示している。

#### 【幸丸展示館】

事業名 日本宝くじ協会助成事業

町づくり特別対策事業

建設年度 昭和 59 年度



#### ＜施設概要＞

所在地 佐渡市小木町 1941 番地 1

電 話 52-2447 (佐渡博物館)

敷地面積 1,837 m<sup>2</sup>

#### 【佐渡植物園】

建設年度 昭和 23 年度



#### ＜施設概要＞

所在地 佐渡市羽茂飯岡 550 番地 6

電 話 52-2447 (佐渡博物館)

敷地面積 17,274 m<sup>2</sup> (総面積 65,040 m<sup>2</sup>)

建築面積 管理棟 35 m<sup>2</sup>

作業棟 19.87 m<sup>2</sup>

温 室 58.32 m<sup>2</sup>

延床面積 55 m<sup>2</sup>

構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建

＜総事業費＞不明

入館料 無料

休館日 年中無休

備 考 佐渡島の植物分布の特異性、多様性の縮図として、佐渡島内に自生している植物を収集、植栽、展示して研究の資料として提供している。

青少年の生涯学習の場としての植物園を目指し、文化的、学術的資料を提供し、植物に親しむことの出来る場として広く公開している。

### 【新穂歴史民俗資料館】

建設年度 昭和 62 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市新穂瓜生屋 492 番地

電 話 22-3117

敷地面積 2,348 m<sup>2</sup>

建築面積 922 m<sup>2</sup>

構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建

駐車場 41 台 (新穂サービスセンターと  
共用)

＜総事業費＞250,094 千円

入館料 大人 200 円／子ども 100 円

休館日 毎週月曜日、12/1～2/29

備 考 当初は、大野川ダム建設事務所であった建物を利用して、昭和 55 年に開館。トキをはじめとして、旧新穂村に關

する資料を中心に考古遺物・農具などが収集されていた。これらの資料をさらに有効利用するため、昭和 62 年に現在の資料館が建設された。1 階では芸術・伝統芸能、2 階では考古と民俗資料の展示を行っている。また、1 階では裂き織りや勾玉作りの体験を隨時受け付けている。

平成 21 年度まで佐渡市が運営を続けてきたが、平成 22～25 年度は新穂さきおりサークルに、平成 26 年度は佐渡シルバー人材センターに受付業務を委託した。平成 27 年度からは地元有志の団体「新穂の歴史と民俗を考える会（通称：新穂資料館友の会）」に受付・企画展開催を含めた管理運営業務を委託している。

### 【金井歴史民俗資料収蔵庫】

事業名 国宝重要文化財等保存施設整備  
費補助金(国)

文化保存事業費補助金 (県)

建設年度 昭和 50 年度



＜施設概要＞

所在地 佐渡市泉甲 375 番地 1

電 話 52-2447 (佐渡博物館)

敷地面積 約 2,000 m<sup>2</sup>

建築面積 収蔵庫 144 m<sup>2</sup>

展示館 136 m<sup>2</sup>

構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建

駐車場 7台

＜総事業費＞15,010千円

備 考 広く佐渡国中平野における農耕文化資料の保存を目的として、昭和50年に竣工。その後、郷倉が旧両津市大字上横山（現佐渡市上横山）から移築されている。

収蔵資料は民俗資料約2,000点、考古資料約4,000点。

平成23年3月に佐渡市歴史民俗資料館条例から記載を削除すると同時に機関を廃止した。

平成23年度から資料館としての開館は行っていない。

名が戦死した。その英靈を慰めるため明治29年に、金井地区得勝寺の住職である本荘了寛が一念発起し、島内外から義捐金を集め、敷地を購入し堂宇を建立し「明治紀念堂」と名付けた。

その後、付属施設として博物資料を展示するための「開導館」を建てた。相川の鉱山学校から譲り受けた資料や、日清・日露戦争等の資料、島内外の資料を陳列した。明治35年に、明治紀念堂と開導館の落成式が開催された。

平成23年3月に条例廃止すると同時に機関を廃止。現在、資料館としての開館は行っていない。

### 【明治紀念堂・開導館】

建設年度 明治35年度



#### ＜施設概要＞

所在地 佐渡市千種丙154番地

電話 52-2447（佐渡博物館）

敷地面積 1,055.2m<sup>2</sup>

建築面積 72.24m<sup>2</sup>

構造・階数 木造平屋建

#### ＜総事業費＞

明治紀念堂 不明

開導館 4,100千円（昭和50年復元）

備 考 明治27年から28年にかけて行われた日清戦争で、佐渡出身の兵士40余

### 【赤泊郷土資料館】

建築年度 平成元年度



#### ＜施設概要＞

所在地 佐渡市赤泊2458番地

（赤泊総合文化会館内）

電話 87-3141

敷地面積 33,000m<sup>2</sup>

建築面積 1,184m<sup>2</sup>

延床面積 3,260m<sup>2</sup>（資料館 約650m<sup>2</sup>）

構造・階数 鉄筋コンクリート造4階建

（資料館は1階及び2階の一部）

駐車場 30台（赤泊サービスセンターと共用）

＜総事業費＞727,885千円

(資料館のみでは不明)

入館料 大人 200円/小中学生 100円

休館日 12/29～1/3

備 考 平成元年に開館。現在は赤泊行政サービスセンター内にある。赤泊を中心とした島の祭りの展示のほか、地域の歴史や文化、暮らしについての展示を行っている。赤泊出身の作家・長谷川海太郎に関連した展示も行っている。

### 【鳥越文庫】

建設年度 平成9年度



#### ＜施設概要＞

所在地 佐渡市猿八 329番地

電話 66-2011

敷地面積 985.4 m<sup>2</sup>

建築面積 240.7 m<sup>2</sup>

構造・階数 木造平屋建

＜総事業費＞50,512千円

入館料 無料

休館日 毎週水曜日、毎月第3金曜日、12/28～1/3

備 考 早稲田大学演劇博物館長、鳥越文蔵教授から古典芸能関係の蔵書2万冊の寄附を受け、県の「ふるさとの木ふれあい事業」として、地元産の木材を使用し「鳥越文庫」が完成。平成29年度より

社会教育課佐渡学センター所管となる。

### 【日本アマチュア秀作美術館】

建設年度 昭和59年度



#### ＜施設概要＞

所在地 佐渡市小木町 1946番地6

(小木図書館内)

電話 86-3456

敷地面積 977.32 m<sup>2</sup>

建築面積 408.68 m<sup>2</sup>

床面積 215 m<sup>2</sup>

(アマ美・収蔵展示スペース)

構造・階数 鉄筋コンクリート一部2階建

＜総事業費＞72,0000千円

入館料 無料

休館日 毎週月曜日、12/29～1/3

備 考 図書館に資料館を併設した「佐渡考古資料館」として新設。現在は1階の一部と2階を「小木図書館」として使用、考古資料館の常設展示室を平成22年5月より日本アマチュア秀作美術館の収蔵展示スペースとして使用し、平成30年度より社会教育課佐渡学センター所管となる。

## 【旧北中学校】



### <施設概要>

所在地 佐渡市平松 60 番地

電 話 52-2447 (佐渡博物館)

敷地面積 12,318 m<sup>2</sup>

建築面積 2,055.85 m<sup>2</sup>

### 構造・階層

校 舎 鉄筋コンクリート造 2 階建

体育館 鉄骨コンクリート造 2 階建

ポンプ小屋 コンクリートブロック造

1 階建

### <総事業費> 不明

備 考 平成 3 年に両津市立北中学校と  
して建設され平成 20 年に閉校。その後、  
所管替えにより佐渡学センターの収蔵庫  
として活用している。

## 令和2年度 入館者の状況

	佐渡博物館	両津郷土博物館	相川郷土博物館	相川技能伝承展示館	史跡佐渡奉行所跡	佐渡国小木民俗博物館	海運資料館	新穂歴史民俗資料館	金井歴史民俗資料収蔵庫	赤泊郷土資料館	(佐渡植物園)	総計
4月	50	0	12	0	45	62		99	0	2	集計なし	270
5月	88	0	5	0	25	25		62	0	1	集計なし	206
6月	113	15	35	0	231	256		212	0	5	集計なし	867
7月	205	21	160	120	584	588		278	0	8	集計なし	1,964
8月	544	16	246	412	1,442	1,052		261	0	27	集計なし	4,000
9月	371	111	879	1,071	2,068	1,418		197	0	23	集計なし	6,138
10月	847	1	1,219	1,455	3,096	1,403		277	0	20	集計なし	8,318
11月	2,240	0	337	316	1,430	939		271	0	18	集計なし	5,551
12月	190	65	58	29	180	149		12	0	3	集計なし	686
1月	72	1	20	13	20	47		0	0	18	集計なし	191
2月	331	34	16	10	80	37		1	0	21	集計なし	530
3月	592	2	61	73	360	175		147	0	5	集計なし	1,415
入館者 年度計	5,643	266	3,048	3,499	9,561	6,151		1,817	0	151	集計なし	30,136

※総計には、佐渡植物園入場者を含まず。

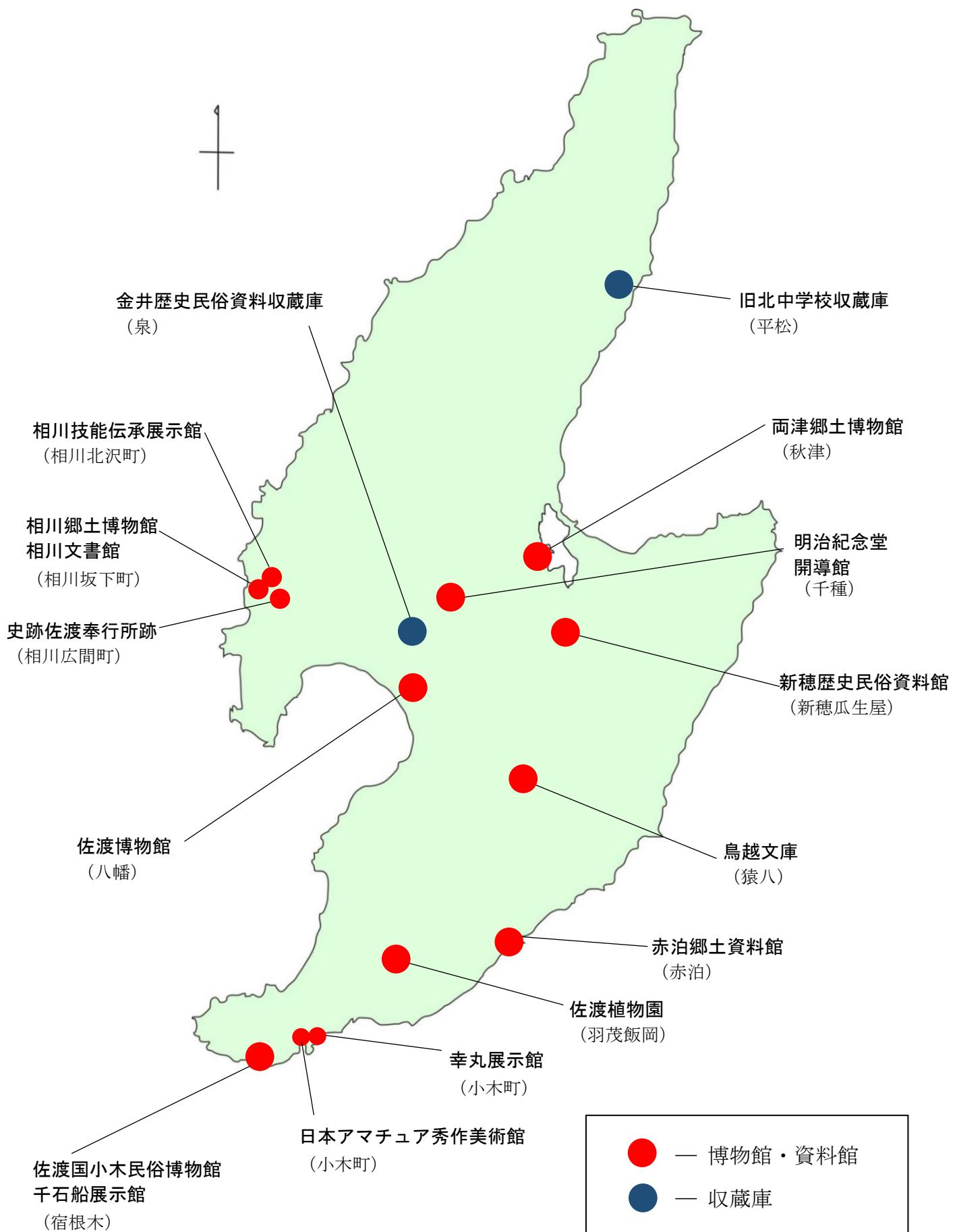
平成 16年度	(20,225)	2,772	4,497	7,844	26,317	20,523	1,477	2,801	263	594		67,088
17年度	(20,031)	3,021	4,354	7,535	25,690	19,902	1,309	2,308	315	812		65,246
18年度	(16,248)	3,086	3,599	6,800	29,195	18,247	1,363	2,607	153	493		65,543
19年度	(14,417)	2,681	2,755	6,239	22,880	17,334	1,413	2,944	176	414		56,836
20年度	(13,470)	3,162	4,925	6,279	20,648	15,038	1,460	3,445	123	282		55,362
21年度	(12,621)	1,838	5,883	5,609	22,105	19,136	1,237	2,859	0	313	(4,360)	58,980
22年度	(10,566)	2,482	6,134	5,890	20,224	18,338	1,241	2,314	74	189	(3,650)	56,886
23年度	(10,072)	2,406	6,893	6,793	19,077	16,957	1,513	2,942	0	168	(2,830)	56,749
24年度	(10,660)	3,634	6,402	6,944	18,407	17,219	1,472	2,946	0	254	(2,860)	57,278
25年度	(8,492)	2,212	6,055	6,207	18,568	16,624	1,157	2,693	0	308	(3,230)	53,824
26年度	10,906	239	5,547	5,511	20,445	19,198	1,224	2,315	0	396	(2,840)	65,781
27年度	9,656	261	4,893	5,689	19,878	21,777	1,227	3,183	0	266	(3,067)	66,830
28年度	10,786	235	5,208	5,728	21,191	18,793	1,137	4,308	1	357	(3,137)	67,744
29年度	8,257	268	4,014	4,493	20,377	16,795	1,134	3,009	27	297	(3,069)	58,671
30年度	6,950	341	4,194	4,809	19,060	14,489		3,454	0	517	(3,101)	53,814
R1年度	7,110	209	4,694	4,764	17,747	14,425		2,947	0	451	集計なし	52,347
R2年度	5,643	266	3,048	3,499	9,561	6,151		1,817	0	151	集計なし	30,136

※平成21年度以降は入館者数に無料入館者を含む

※佐渡博物館は平成26年1月から佐渡市が運営

※海運資料館は平成29年11月30日に閉館

## 佐渡市立博物館・資料館・収蔵庫など



## 団体・視察受入れ状況

### 【佐渡博物館】 (◆) は島内の保育園・小中学校等

月日	団体・視察者名	人数
4月3日	一般 職員研修	3
8月21日	一般 職員研修	2
30日	新潟大学	10
10月9日	◆佐渡特別支援学校	6
12日	◆佐渡高等学校	35
15日	◆佐和田ふれあい学級	24
22日	◆金井ことぶき学級	16
125日	◆大和公民館	47
11月13日	電氣通信大学	1
23日	ジオパークガイド研修	12
1月27日	長野市	2
3月5日	◆佐渡特別支援学校	7
3月10日	◆相川幼稚園	8
17日	◆八幡保育園 ◆小木ことぶき学級	50
18日	◆佐和田ふれあい学級	31
19日	一般	4
合計 258名		

### 【両津郷土博物館】

月日	団体・視察者名	人数
6月2日	◆両津吉井小学校	15
7月13日	◆河崎小学校	19
7月24日	世界遺産推進課 資料撮影	2
8月5日	◆両津吉井小学校	13
9月15日	◆両津吉井小学校	109
12月10日	◆加茂小学校	33
12月10日	◆佐和田公民館 高齢者学級	32
2月2日	◆河崎小学校	33
2月10日	◆加茂小学校	33
合計 289名		

### 【赤泊郷土資料館】

月日	団体・視察者名	人数
1月26日	◆赤泊小学校	18
2月26日	◆赤泊保育園	18
	合計 36	

### 【相川郷土博物館】

月日	団体・視察者名	人数
7月10日	白山小学校	42
15日	関谷小学校	23
16日	浜浦小学校	30
8月25日	青山小学校	42
27日	新通小学校／新通つばさ小学校	36
28日	妙高高原南小学校／中浦小学校	24
30日	中野山小学校	26
9月1日	日和山小学校／東山ノ下小学校／ 大崎学園	104
2日	桃山小学校	25
3日	川東小学校／田尻小学校	72
4日	山ノ下小学校	35
8日	下山小学校／岡方第一小学校	49
10日	津川小学校／しただの郷学園	42
11日	大淵小学校	22
14日	紫竹山小学校	31
15日	二葉小学校／東中野山小学校	63
17日	針小学校	21
18日	丸山小学校／萩野尾小学校	48
19日	山潟小学校	65
24日	◆両津小学校	20
28日	紫雲寺小学校／荻川小学校	32
29日	坂井輪小学校	30
30日	金屋小学校	24
10月1日	二田小学校／大形小学校	116
7日	瀬波小学校／内野小学校／矢代田 小学校	92
8日	竹尾小学校	30
9日	◆佐渡高校相川分校	4
12日	神山小学校	17
14日	安田小学校／有明台小学校	102
15日	新通小学校／万代長嶺小学校	66
16日	早通小学校／広神東小学校	49
20日	東曾野木小学校／牡丹山小学校／ 外ヶ輪小学校	86
21日	三条おおじま小学校／京ヶ瀬小学 校／巻北小学校	114
22日	平林小学校／曾野木小学校	55
24日	耐震工事関係視察／世界遺産推進 課視察	12

28 日	東豊小学校	20
29 日	◆高千中学校／大通小学校／弥彦小学校	152
30 日	保内小学校	36
11 月 5 日	関原小学校	27
9 日	耐震工事関係現地視察	11
13 日	小須戸小学校	27
16 日	◆金井小学校	32
17 日	◆金井小学校	33
18 日	◆南佐渡中学校	38
19 日	真砂小学校	58
12 月 2 日	耐震工事関係現地視察	14
8 日	◆河原田小学校	25
	合計	2,122

### 【史跡佐渡奉行所跡】

月日	団体・視察者名	人数
6 月 10 日	◆赤泊小学校	12
7 月 6 日	世界遺産推進課視察	2
7 日	世界遺産推進課視察	9
10 日	◆羽茂小学校	26
15 日	◆河原田小学校／世界遺産推進課撮影	34
16 日	上山小学校／浜浦小学校	62
8 月 4 日	理科研究センター研修	20
6 日	世界遺産推進課視察	9
24 日	広神西小学校	33
25 日	山田小学校	85
27 日	新通つばさ小学校／新通小学校	97
28 日	南川小学校	44
9 月 1 日	東山の下小学校／大崎学園	58
2 日	城山小学校／桃山小学校	54
3 日	出雲崎小学校／三郷小学校／田尻小学校	56
4 日	巣本小学校	21
8 日	中島小学校／城之内小学校	91
9 日	裏磐梯中学校	10
10 日	月潟小学校／◆新穂小学校	45
11 日	下条小学校／新関小学校	49
17 日	新潟聾学校	6
18 日	松野尾小学校／世界遺産推進課視察	24
23 日	亀田西小学校／世界遺産推進課視察	40

24 日	庄瀬小学校／◆両津小学校	46
25 日	新井小学校／北辰小学校	112
28 日	◆相川幼稚園	5
29 日	◆佐和田中学校／◆高千小学校／金屋小学校／坂井輪小学校	89
10 月 1 日	赤石小学校／大杉小学校	57
7 日	内野小学校／世界遺産推進課視察	40
12 日	神山小学校	21
13 日	木崎小学校／伊米ヶ崎小学校／富曾龜小学校	205
15 日	万代長嶺小学校／水原小学校	71
16 日	広神東小学校／小合小学校／柏崎小学校	141
17 日	さど健康ウォーク	70
21 日	牡丹山小学校	131
22 日	曾野木小学校／平林小学校	95
28 日	新飯田小学校／東豊小学校／北条小学校	61
29 日	妙高高原北小学校／◆高千中学校／観光振興課視察	28
30 日	上関小学校／柄窪小学校	25
11 月 6 日	西小学校	46
11 日	根岸小学校	31
12 日	今町小学校／大瀧小学校	93
16 日	◆金井小学校	32
17 日	◆金井小学校	32
18 日	◆南佐渡中学校	40
23 日	ジオパークガイド研修	20
2 月 24 日	世界遺産推進課ガイド研修	4
3 月 3 日	◆佐渡中等教育学校	65
	合計	2,447

### 【相川技能伝承展示館】

月日	団体・視察者名	人数
7 月 10 日	白山小学校	42
11 日	一般団体	4
15 日	関屋小学校	23
16 日	浜浦小学校	30
20 日	松浜小学校	18
25 日	青山小学校	42
27 日	新通小学校／新通つばさ小学校	36
28 日	新津第二小学校／中浦小学校／妙高高原小学校	89
30 日	中野山小学校	26

31 日	小林小学校	31
9 月 1 日	日和山小学校／東山の下小学校／大崎学園	104
2 日	桃山小学校	24
3 日	神納小学校／三川小学校／阿賀小学校／立川東小学校／田尻小学校	176
4 日	山の下小学校／五十沢小学校	69
8 日	下山小学校／岡方第一小学校	56
10 日	津川小学校／森町小学校／長岡聾学校	47
11 日	下条小学校／大淵小学校	55
14 日	紫竹山小学校	30
15 日	二葉小学校／東中野山小学校	83
17 日	針小学校	23
18 日	丸山小学校／松野尾小学校	48
19 日	山潟小学校	74
24 日	◆両津小学校／上雲寺小学校	33
25 日	新潟聾学校	5
28 日	荻川小学校／紫雲寺小学校	71
29 日	坂井輪小学校／◆高千小学校	50
30 日	金屋小学校	14
10 月 1 日	二田小学校／大形小学校／大崎小学校	137
7 日	瀬波小学校／内野小学校／矢代田小学校	122
8 日	竹尾小学校	40
9 日	◆佐渡高校相川分校／戸野目小学校	35
12 日	神山小学校／稻田小学校	71
13 日	赤塚小学校／稻田小学校	70
14 日	安田小学校／有明台小学校	102
15 日	万代長嶺小学校／水原小学校／新道小学校／大積小学校／宮本小学校	92
16 日	早通小学校／小合小学校／広神東小学校／五泉東小学校	109
19 日	一般団体	30
20 日	外ヶ輪小学校／牡丹山小学校／東曾野木小学校	97
21 日	巻北小学校／京ヶ瀬小学校／須頃小学校	104
22 日	曾野木小学校／平林小学校	65

24 日	笹岡小学校	31
28 日	東豊小学校	33
29 日	大通小学校／妙高高原北小学校／弥彦小学校	163
30 日	保内小学校	48
11 月 5 日	関原小学校	35
6 日	西小学校	41
12 日	和納小学校／大瀧小学校／豊栄南小学校	82
13 日	小須戸小学校	35
18 日	巻北小学校／◆南佐渡中学校	40
19 日	真砂小学校	54
26 日	有明台小学校	1
12 月 8 日	◆河原田小学校	25
1 月 26 日	◆相川小学校	13
2 月 12 日	◆七浦小学校	10
3 月 3 日	◆佐渡中等教育学校	60
		合計 3,048

### 【佐渡国小木民俗博物館】

月日	団体・視察者名	人数
6 月 29 日	一般団体	18
7 月 15 日	◆羽茂高校	27
7 月 16 日	◆南佐渡中学校／浜浦小学校	111
8 月 9 日	一般団体	20
24 日	山田小学校	19
9 月 1 日	東山の下小学校／大崎学園	60
2 日	城内小学校	30
10 日	しただの郷学園／◆河崎小学校	55
11 日	一般団体	26
17 日	丸山小学校	33
17 日	一般団体	32
23 日	亀田西小学校	28
25 日	◆両津小学校	20
28 日	◆佐和田中学校	47
29 日	坂井輪小学校	33
10 月 6 日	御免町小学校	75
7 日	内野小学校	34
9 日	赤泊保育園	25
15 日	小合小学校／万代長嶺小学校／水原小学校	71
18 日	一般団体	15
20 日	大島小学校	18
21 日	巻北小学校	37

24 日	一般団体	18
31 日	一般団体	18
11月 11 日	一般団体	16
12 日	大瀧小学校／小須戸小学校	60
12 月 6 日	ジオパークガイド研修	18
1 月 29 日	◆羽茂小学校	26
2 月 10 日	◆真野小学校	37
3 月 4 日	◆佐渡中等教育学校	60
10 日	◆フィルムコミッショナ佐渡	15
24 日	常翔啓光学園中学校	22
	合計	1,124

### 【新穂歴史民俗資料館】

月日	団体・視察者名	人数
6 月 3 日	◆新穂中学校	9
10 日	◆新穂中学校	9
17 日	◆新穂中学校	9
7 月 1 日	◆新穂中学校 ◆新穂公民館いきいき学級	41
9 月 10 日	◆新穂小学校	19
30 日	◆二宮小学校	33
10月 26 日	◆両津地区公民館	21
	合計	

### 【畠野鳥越文庫】

記録無し

### 【日本アマチュア秀作美術館】

記録無し

### Ⅲ. 佐渡学センター事業報告

#### 1. 展示

##### 【佐渡博物館】

###### ＜展示構成＞

###### ○ 2階

自然・考古・歴史・民俗展示室で常設展示を行っており、佐渡全体の自然・歴史・文化等をまとめて紹介している。

美術・工芸展示室では特別展・企画展（規模・内容によって1階展示室を使用）を開催。会期外の期間は佐渡の美術・工芸展として佐渡にゆかりのある作品を定期的に展示替えをしながらに展示。

###### ○ 1階

展示室では主に企画展を開催。特別展・企画展を2階美術・工芸展示室で開催時には佐渡の美術・工芸展を行う。また、ホールには、佐渡に伝わる民謡の紹介DVD上映コーナーや佐渡ジオパーク情報コーナー、クジラの化石等がある。

中庭ではロックガーデン（佐渡産出の岩石約50種）、中庭両脇には、国登録有形文化財となっている佐渡の古民家と土蔵（いずれも移築、安全確保のため建物内立入禁止）・古墳時代の堅穴住居と高床式倉庫（いずれも復元、安全確保のため建物内立入禁止）がある。

また、展示されている内容から出題するクイズブックを平成27年度から開始し、主に小学生を対象としている。難易度ごとに初級・中級・上級・博士コースの4種類を作成し、希望する人が挑んでいる。

###### ＜常設展示＞

###### 「佐渡の美術・工芸」

令和2年3月23日～5月13日

令和2年7月11日～令和3年4月25日

内容 主に佐渡出身の重要無形文化財保持者（人間国宝）の作品及び佐渡出身または佐渡ゆかりの作家の作品を展示了。会場には作者の略歴を記した配布資料を置いて、作品展示だけでなく作家の紹介もできるよう配慮した。

###### ＜企画展示＞

###### 特別展「佐渡ゆかりの書」

会期 第1回：令和2年7月20日～10月14日  
第2回：令和3年1月4日～2月16日

（第1回は会期中展示替有）

内容 第1回では、江戸期から昭和初期の佐渡にゆかりのある人物の書作品を展示。文鎮や水滴など書に関わる道具も展示。また、第2回では佐渡島内の小中高校所蔵の書作品を1校1点ずつ展示。

展示作品数 第1回108点  
第2回 29点

###### 特別展内企画

・ギャラリートーク「佐渡を訪れた人と山本家」

講師：山本修巳氏

開催日 令和2年10月4日

第1回13時30分 第2回15時

参加者 43人（各回定員20名）

・展示解説会「人とその書」

講師：新潟大学教育学部教授 岡村鉄琴  
氏  
開催日 令和2年10月24日  
13時30分～  
参加者 16名（定員20名）  
入館者数 1,501人

企画展「佐渡博物館収蔵品展 佐渡に遺る  
花鳥図作品展」

会期 令和2年6月6日～7月12日  
内容 花鳥が描かれた美術・工芸品を佐渡博物館収蔵品の中から展示。佐渡博物館で展示活用が困難な島外資料を中心に展示。  
展示作品数 45点

入館者数 195人

企画展「本間嘉晴・フヂエ遺作展」

会期 令和2年11月7日～12月23日  
内容 元佐渡博物館館長本間嘉晴氏とフヂエ夫人の絵画・書作品展。絵画は主に佐渡の風景を描いた油彩作品。  
展示資料数 36点

入館者数 1,485人

企画展「ひな人形からみる佐渡の人形展」

会期 令和3年2月23日～3月23日  
内容 北前船などの廻船業によって持ち込まれた相川郷土博物館や佐渡国小木民俗博物館に収蔵しているひな人形のほか、八幡人形や伏見人形などを展示。  
展示資料数 88点

入館者数 699人

企画展「佐渡島大化石展」

会期 令和3年3月27日～5月30日  
内容 佐渡の地質研究に貢献した新潟大学

名誉教授故小林巖男・故島津光夫両氏の紹介コーナーも設置。

展示資料数 275件（目録記載分）

\*佐渡ジオパーク推進協議会共催

入館者数 878人

### 【両津郷土博物館】

#### ＜展示構成＞

常設展示は、第1～第3展示室で構成されており、それぞれ「海」、「くらしと木」、「祭」をテーマとしている。民俗資料を中心に歴史資料がそれを補完する形での展示を行っている。

### 【相川郷土博物館】

#### ＜展示構成＞

鉱山関係資料、相川地区出土の考古資料、遊女関連資料、工芸として鋳金作品や金太郎焼を展示。昭和10年代に外務大臣を務めた有田八郎氏の資料を展示している。

体験コーナーとして水上輪を設置し、実際に回して鉱山労働の厳しさと、当時の技術を体感できる。平成28年度からは、佐渡博物館に引き続き、相川郷土博物館版クイズブックを開始し、小学生を主な対象とし、希望者に配付している。

#### ＜企画展示＞

「相川郷土博物館収蔵品展～相川ゆかりの人物～」

内容 相川郷土博物館が収蔵している相川ゆかりの人物の資料の展示。主な展示品は、益田孝「屏風」、村田文三「立浪会紋入浴衣」、有田八郎「ボロのちやんちやんこ」等。

## 【相川技能伝承展示館】

### ＜展示構成＞

展示室では島内の窯元・裂き織り愛好者の作品を展示している。また、体験学習のメニューにはないが、文弥人形も展示している。裂き織り実習室は、自由に出入りで、見学できるようになっている。

## 【史跡佐渡奉行所跡】

### ＜展示構成＞

基本的に当時の技術で復元した建物を来館者に体感してもらう形であり、御役所内を説明員が案内している。ガイダンス施設である勝場では、発掘調査で出土した遺物や絵巻物（レプリカ）などの資料を展示し、当時の選鉱作業の設備を復元し、実際に石磨を回す体験を行っている。施設の活用を図るため、「鈍翁茶会」の会場として開放を企画していたが、新型コロナウィルス感染拡大の影響でイベント関係は中止となつた。

## 【佐渡国小木民俗博物館】

### ＜展示構成＞

本館には、「衣」「信仰」「陶器」をテーマにした展示室のほか、昔の生活道具を展示している大型展示室がある。

令和2年7月に、羅針盤や通行手形、織帆などの資料や宿根木の廻船問屋関係資料、北前船の運航について解説を行う「海運」をテーマにした展示室を開室した。

新館には南佐渡の漁撈具や農具、新館ホールでは長者ヶ平遺跡出土品などの考古資料を展示。千石船展示室には、全長23.75mの白山丸を展示しており、船内の見学もできる。

平成29年度からは、佐渡博物館、相川郷土博物館に続き、小木民俗博物館版クイズブックを開始し、小学生を主な対象とし、希望者に配付している。

## 【幸丸展示館】

### ＜展示構成＞

18m×24mの吹き抜けの展示館内には、船主であった長谷川正作氏の計画により、航海中にいかなる船も優先した「右舷開き」と呼ばれる帆形を再現して展示を行っている。また、展示館前庭には、案内解説看板や天然記念物および名勝「佐渡小木海岸」の岩石（枕状溶岩、柱状節理）、かつて湾内に使用されていた尾道産の御影石などを配し、無料入館できる身近な文化施設として利用されている。

※資料保存のため帆を下ろしている。

## 【佐渡植物園】

### ＜展示構成＞

北緯38度線上に位置する佐渡島は、潮流の影響によって寒暖の差が少なく自生種が極めて多い。日本列島の縮図的な植物分布となっている。13のゾーンに区分けした園内には、自生種の代表的な植物を植栽展示しており自然散策道や遊歩道を歩くと四季を通じて趣が感じられる。

昭和47年佐渡植物園20周年記念として、明治神宮から分けて頂いた花菖蒲は6月下旬～7月上旬が見頃である。

### ＜企画展示＞

「春の山野草展」（例年5月開催）

「ウチョウランと初夏の山野草展」（例年7月開催）

「大文字草と秋の山野草展」（例年10月開催）  
「雪割草展」（例年3月開催）  
例年行われている4つの企画展は新型コロナウィルス感染拡大の影響で中止。

### 【新穂歴史民俗資料館】

#### ＜展示構成＞

1階では、新穂出身の日本画の大家土田麦僊の作品や鬼太鼓、国指定文化財の文弥人形、県指定文化財の説経人形・のろま人形に関する資料を展示。2階においては、国指定重要文化財の新穂玉作遺跡や藏王遺跡の資料、また各種農具や生活用具といった民俗資料を展示。

収蔵資料は約1,400点。

#### ＜企画展示＞

高校三校写真部 新穂写彩の会「合同写真展」  
会期 令和2年3月1日～4月12日  
主催 新穂の歴史と民俗を考える会  
共催 新穂写彩の会、佐渡高校写真部、佐渡総合高校写真部、羽茂高校写真部  
入館者 83名

新潟県文化財追加指定記念展「国中平野の縄文時代」  
会期 令和2年6月20日～8月10日  
主催 佐渡市・佐渡市教育委員会  
共催 新穂の歴史と民俗を考える会  
入館者 362名

「新穂歴史民俗資料館未公開収蔵品展」  
会期 令和2年8月18日～10月11日  
主催 新穂の歴史と民俗を考える会  
入館者 179名

「新穂中学1年生の裂き織り作品展」  
主催 新穂の歴史と民俗を考える会  
会期 令和2年10月17日～10月22日

「島内で活動する絵手紙愛好者的心を贈る  
楽しい絵手紙展」  
会期 令和2年10月17日～11月29日  
主催 新穂の歴史と民俗を考える会  
共催 島内絵手紙愛好団体  
入館者 384名（裂き織り・絵手紙計）

## 2. 収集保管

受入月	資料名	作者	点数	種別・形態	備考
R2.4	室岡家民具		4	筵織り機・唐箕・臼・献花台	寄贈
10	風景画	恩田 耕作	1	扁額	収集
10	和歌屏風	山田 宣	1	六曲屏風	寄贈
	賀状貼交屏風	山田 宣	1	二曲屏風	寄贈
	色紙	山田 宣	2		寄贈
11	佐渡鉱山地図		1		寄贈
	馬鞍		2		寄贈
	漢詩屏風	亀田 鵬斎	1	六曲屏風	寄託
12	緑色格子紋様波状口縁硝子鉢	佐々木玲子	1		寄託
	三味線		1		寄贈
	文弥人形			一式	寄贈
	幟旗			二対	寄贈
10	金井音頭レコード		2		寄贈
	風景画「小木港風景」	恩田 耕作	1	扁額	寄贈

### 3. 調査研究

- ・新潟県立文書館歴史資料所在確認調査の協力

新潟県立文書館では、平成4年の開館以来、新潟県各地に所在する歴史資料の保存促進やその収集・活用にも努めている。佐渡市管内の歴史資料所在確認調査の協力を正在进行る。

令和2年度については椎泊地区所有文書の調査を行う予定で調整していたが、新型コロナウィルス感染症拡大の状況を受け実施次年度以降に見送った。

### 4. 普及・啓発・学習活動支援

#### 【展示解説】

各施設に学芸員が赴き、展示解説を行う。  
合計 60件。

#### 【クイズブック】

クイズ（冊子）を楽しみながら館内展示を見て回ることができる取組で、佐渡博物館、相川郷土博物館、佐渡国小木民俗博物館に設置されている。個人利用・団体利用のどちらでも利用できる。

- ・相川郷土博物館 : 5件
- ・佐渡国小木民俗博物館 : 4件

#### 【ワークショップ（体験活動）】

- ・勾玉作り体験 : 1件
- ・オーブンクレイ土偶づくり : 2件  
(出前授業に含む)
- ・藁を使ったクリスマスリースづくり : 1件

#### 【さどはくまつり！】

実施日 令和2年11月3日  
来館者 大人 382人  
こども 172人  
合計 554人

内 容 博物館をよりよく知ってもらい、親しみを持ってもらうため、子ども向けのワークショップを開催したほか、風船の配布や中庭の堅穴式住居の復元などを行った。

#### 【さどはく無料入館ウィーク】

令和2年11月3日（火）～11月10日（火）  
さどはくまつり期間中の一週間を無料入館  
ウィークとした。

来館者 : 1,785名（さどはくまつり含む）

#### 【出前授業・講師依頼】

- ・出前授業 : 12校  
八幡小学校（2回）  
河崎小学校  
両津小学校  
河原田小学校（2回）  
高千小学校・中学校（合同）  
二宮小学校  
畠野小学校（2回）  
金井小学校  
相川小学校  
内容としては総合的な学習における地域学習や、社会科の「むかしのくらし」での利用が多かった。他には、縄文時代など実物資料を活用するものの希望が多かった。

- ・市民大学講座

実施日 令和2年12月8日（火）  
講 師 高藤 一郎平（小木民俗博物館指導員）  
内 容 縄文時代から近世末までの佐渡の  
海運について。

## 【職場体験・見学】

- ・課題解決型職場体験

実施校 真野中学校2年生

実施日 令和2年9月30日～10月2日(3日間)

生徒数 4人

内 容 佐渡博物館及び各博物館の現状の把握やお客様への対応、課題として展示の解説作りなどを行った。

## 5. レファレンス・資料貸出等

### 【レファレンス（照会対応）】

佐渡の自然・歴史・文化に対する照会に対応する。

111件(月およそ9件)

### 【博物館資料の特別利用】

各施設・資料の特別利用(撮影、取材、調査研究、画像提供依頼など)に対応する。

62件

### 【資料貸出】

貸出依頼のあった資料について、貸出対応を行う。

7件

## 6. 支援・助成事業

### 【佐渡文化財団運営費補助金】

平成30年7月2日に佐渡の文化の発展及び活き活きとした地域住民の暮らしの実現のために設立された一般財団法人佐渡文化財団が事業を進めていくために必要な経費に対し、補助金を交付した。

補助事業者：一般財団法人佐渡文化財団

交付確定額：8,892千円

なお、佐渡文化財団のあり方、るべき姿を検証するため、「一般財団法人佐渡文化財団に関する検討会」を下記のとおり開催し、検討結果の答申を受けた。

開催日	議事内容
第1回 R2.8.19	経過内容について
第2回 R2.9.16	これまでの事業内容の把握について
第3回 R2.10.16	問題点、方向性について
第4回 R2.11.25	検討会報告書について

### 【文化関係等出場激励金】

新潟県立羽茂高校が、高知県で開催された第44回全国高等学校総合文化祭(郷土芸能部門)への出場を決めていたが、新型コロナウィルス感染拡大の影響により動画投稿による参加となった。動画は、特設サイト「WEB SOUBUN」において、令和2年7月31日～10月31日まで公開された。

令和2年度における激励金の支給実績はなかった。

## 7. 連携事業

---

### 【佐渡学セミナー】

第9回 佐渡学セミナー

日時 令和2年3月13日

午後1時30分～3時30分

会場 あいぽーと佐渡 多目的ホール

内容

講演 ロシア民謡とロシア演劇

　　－ロシアブームの中で－

講師 新潟大学人文学部教授 齋藤 陽一

### 調査報告

「2019年・2020年の新潟大学考古学研究室による発掘調査－佐渡市 西三川砂金山跡・五泉市 村松ステーション旧陸軍練兵場跡」

講師：新潟大学人文学部考古学研究会助教

清水 香

主催 佐渡市教育委員会

共催 新潟大工人文学部

## 8. イベント

佐渡市においては、実行委員会を設立し、佐渡学センターが事務局を担い、関係団体と協力した文化イベントを行っている。

令和2年度は、下記の2事業を計画していたが、新型コロナウイルスの影響に伴いいずれも中止となった。

### ★ 「第5回佐渡民謡の祝祭」

佐渡民謡の次世代継承及び普及啓発を目的に、平成28年度から開催している『佐渡民謡の祝祭』であるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による市内イベントの開催状況や民謡団体への意向調査結果を踏まえ、中止となった。

### 【参考：第4回佐渡民謡の祝祭の様子】



### ★ 「佐渡鈍翁茶会 2020」

佐渡市出身の実業家で茶人としても高名な益田孝(1848~1938)の功績をたたえることを目的に、平成29年度から開催している『佐渡鈍翁茶会』であるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による各茶会の中止状況等を踏まえ、中止となった。

### 【参考：佐渡鈍翁茶会 2019の様子】



## 9. 刊行物

- ・佐渡学センター 年報第11号

## IV. 佐渡学センター関係団体

### 1. 佐渡市博物館協議会

---

佐渡市博物館条例第10条第1項に基づき、博物館の運営及び事業、連携活動の推進又は調整その他について協議を行う。

【令和二年度佐渡市博物館協議会 委員名簿】

#### 【第1回】

日時：令和2年9月28日（月）13:30～

議題：

- (1) 令和2年度 佐渡学センター事業の進捗状況について
- (2) (仮称) 佐渡市博物館ビジョンについて
- (3) 相川郷土博物館耐震基本設計について

会長 池田 雄彦  
副会長 池田 哲夫  
委員 伊藤 正一  
伊藤 窠一  
大屋 柳平  
萩野 正作  
小見 秀男  
加藤 恭子  
前野 貢

#### 【第2回】

日時：令和3年2月24日（水）13:30～

議題：

- (1) 令和3年度佐渡市博物館・資料館運営事業事業計画（案）
- (2) (仮称) 文化振興ビジョンについて
- (3) その他

---

# 佐渡学センタ一年報

第12号（令和2年度版）

編集・発行 佐渡学センター

〒952-1311

新潟県佐渡市八幡 2041 佐渡博物館内

TEL 0259-52-2447

発行年月日 令和4年3月31日

---